

愛機の燃費を低減せよ!

トラックエコ得大作戦 第7回

今年8月初頭の軽油の全国平均価格は93.0円。価格は6月をピーク(93.9円)にほぼ横ばいとなっている。トラックの「エコ得」は燃料費低減のほか、部品を長持ちさせることによる整備費用の低減という手法もある。今回は新兵器をご紹介!



高級感あるパッケージのなかには、本体と装着用ツールのほかゴム手袋も同梱されている。

CFV シーエフバイ
¥50,000+税

問 ワールド商会
tel.075-821-5118

CLEAN FUEL VALVE、略してCFV。排気ガスを浄化して黒煙を低減するアイテムで、2003年の排ガス規制後の車輦に装着されたDPF(ディーゼル微粒子捕集フィルター)を保護してくれる。交換サイクルは約3年。ユーザー登録すれば交換時期を知らせてもらえ、またキャッシュバックも受けられる。

Report 01 排気ガスの黒煙を減らし、整備のコストも低減する新兵器登場!!

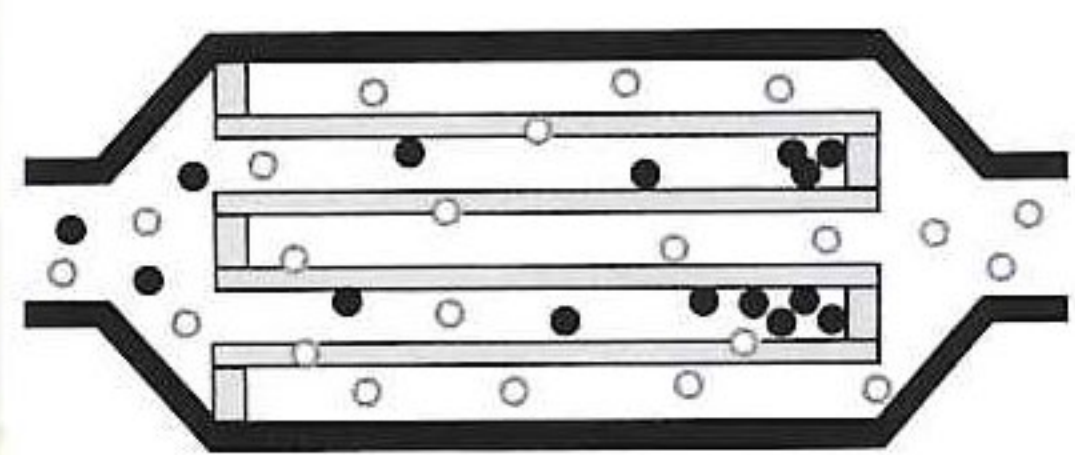
トラックの「エコ得」を実現するアイテムに新兵器「CFV」が加わった。燃料タンクに入れるだけでディーゼル車の排出ガスを浄化。さらに整備コストや燃費も抑えてくれるという優れモノなのだ。

今回はお馴染みのナノスリックのレポートはお休み(次号から再開)。今号の発売日(8月18日)にリリース予定のトラックエコ得チューンの新たな仲間を紹介したい。その名は「CFV」。クリーンフューエルバルブの略称であるこのアイテムは、排気ガスを浄化して黒煙を低減。これにより2003年の排ガス規制により装着が義務づけられたDPFを保護してくれるのだ。整備費用のカットも魅力だが、車輛

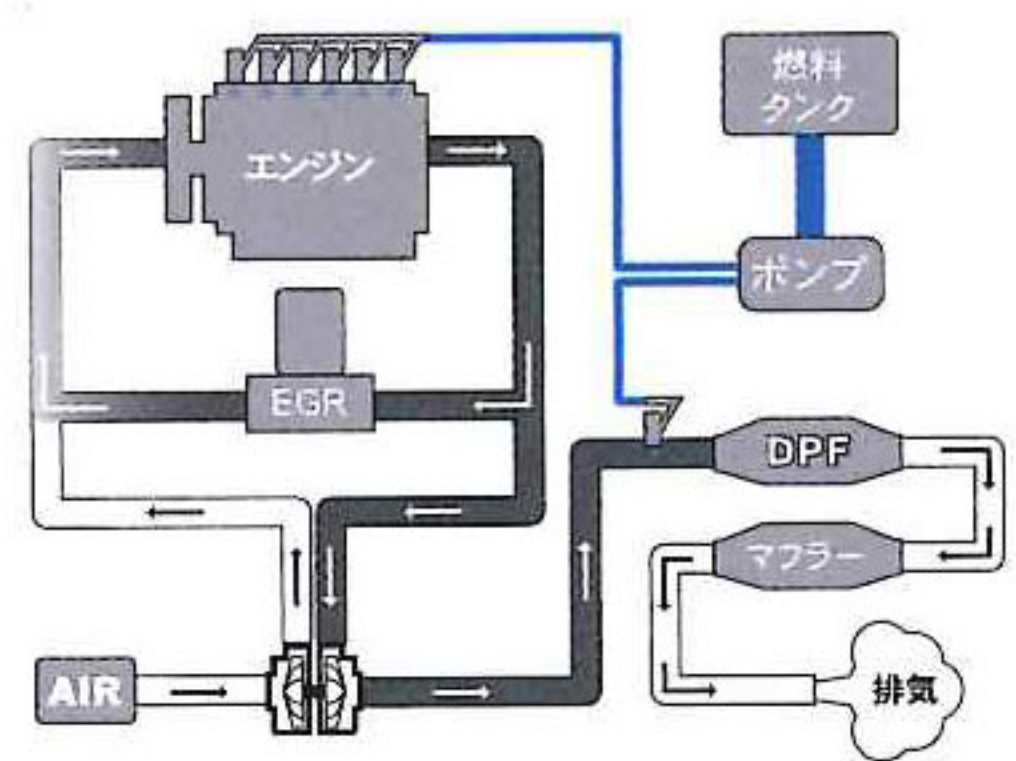
を工場に預ける時間が減るのでトラックの稼働率もアップする。DPF装着車に乗るトラックならそのすこさが想像できるだろう。さらにエンジン内の完全燃焼を促す効果もあり、燃費低減にも貢献してくれるのだ。このCFVによるDPF整備と燃費のコストダウン効果は次号で詳しくお伝えしたい。CFVは今回の2トン車用のほか来年2月には大型車用、8月には中型車用がリリースされる予定だ。

DPFを保護し排気の黒煙を低減!!

DPFのしくみ。排ガス中の黒煙の元となる粒子状物質(PM)をフィルターで集める。溜まったPMは内部で燃やして解消する。これをDPFの再生という。



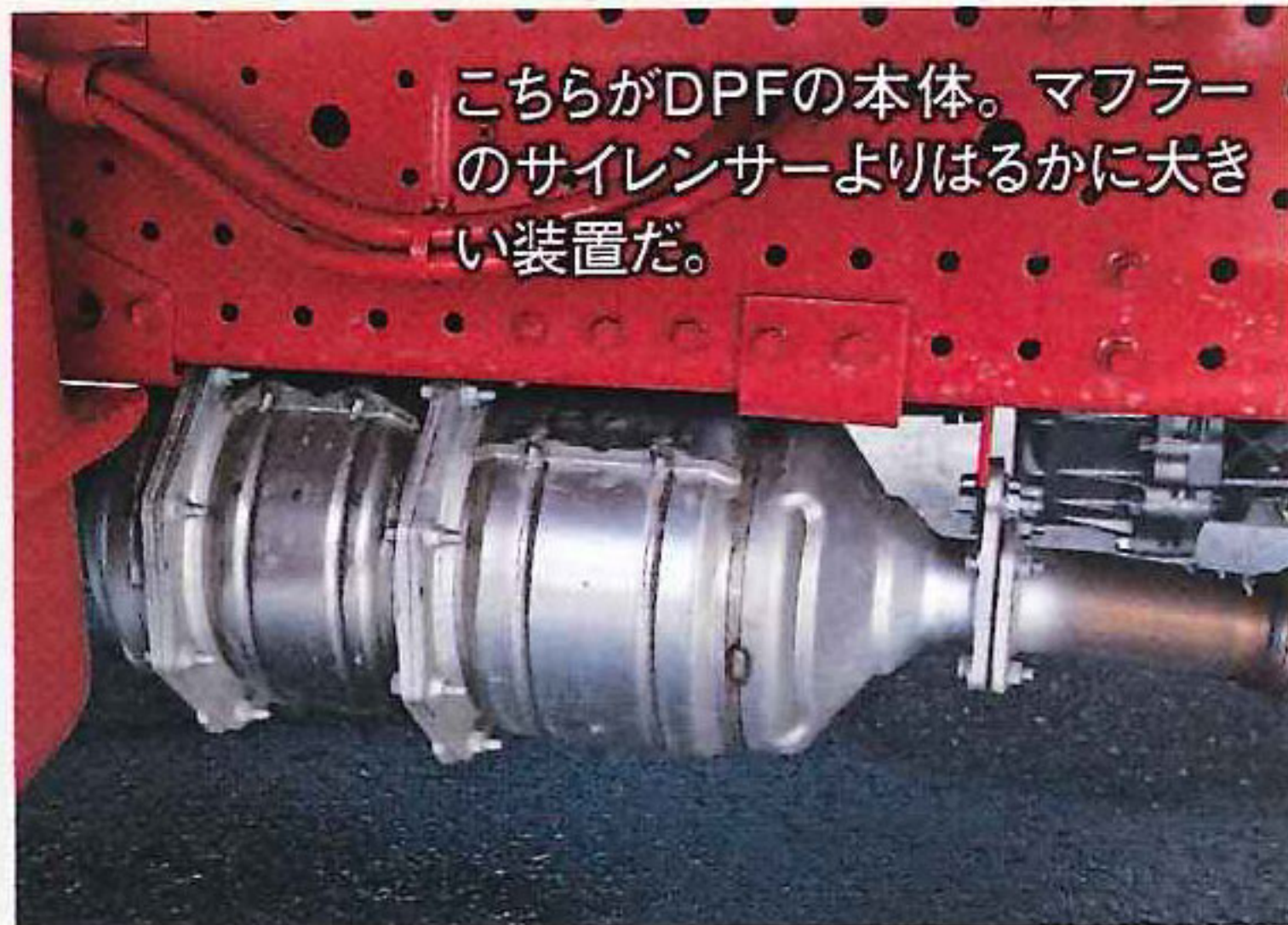
●...粒子状物質(PM)
○...窒素酸化物(NOx)



2013年排ガス規制後のディーゼル車は、上の図のような吸排気システムになっている。DPFはマフラーの手前にある。



右の写真の下にあるふたつのランプがDPFの再生警告灯。左が走行中に再生する自動再生、右が停車が必要な手動再生だ。左の写真が手動再生のスイッチ。



こちらがDPFの本体。マフラーのサイレンサーよりはるかに大きい装置だ。

施工は燃料タンクにマグネットで装着するだけ、実にカンタン!!



今回の撮影に協力してくれたのは神奈川県「石川商事」。中央の人物が石川栄一社長。右のドライバーが田中郷志さん、左が炭智里さん。

3 専用のツールにチェーンの先端を付ける。先端はマグネットになっており、それをタンクに付けるわけだ。

2 施工開始。まずは燃料タンクのキャップを開ける。

1 スタート!! 装着車はエルフ。平成28年4月登録の新車だ。



4 ツールとマグネットを燃料タンクのなかに入れる。



5 ツールを上へ動かし、タンクの上部にマグネットを付ける。



6 CFV本体を燃料タンクに投入する。



7 左の写真の給油口の中心に見えるのがCFVに付いたチェーン。今回の製品は鉄製タンク用だが、マグネットが装着できないアルミやステンタンクに対応したアダプターを現在考案中とのことだ。

読者モニター大募集!! 20名様にプレゼント!! CFVを愛車に施工してその効果を体感しよう!!

CFVのリリースを記念して、トラックスピリッツ読者にモニタープレゼント!! 当選者には後日、当連載ページの取材にご協力いただきます。

応募方法

官製ハガキに、郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号・職業・愛車の車名&年式を明記してご応募ください。

〒158-1182 東京都世田谷区等々力3-6-16 プリヤン等々力203 (株)メディアプラス トラックスピリッツ編集部 「CFVモニタープレゼント係」まで。 2016年10月15日消印有効です。



8 シリアルナンバーが記されたステッカーを貼り、交換日を記載して作業終了。ユーザー登録は付属の書類に必要事項を記載してFAXすればOK。